## 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【日進中学校】

(3月)

児童生徒の

6	次年度への課題と改善策
知識·技能	
思考·判断·表現	
主体的に学習に取り組む態度	
	次任世门向けて

1	目標・策		
	目 標		策
知識·技能	R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、国語は「言葉の特徴や使い方に関する事項」、数学は「図形」の各領域、社会は「公民的分野」を3pt向上させる。R4年度全国学力・学習状況調査より、理科は「エネルギー」の領域をさいたま市学習状況調査の結果も併せて3pt向上させ、維持する。	⇒	国語は文法のテスト範囲を適切に設定し習熟度を捉え、数学・社会・理科はスタディサプリやドリルパークを活用して主体的な反復練習を指導する。
思考·判断·表現	R4年度全国学力・学習状況調査より、国語は「書くこと」、数学は「観点②・記述式」の領域において、45点以上を維持する。R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、理科は領域ごとの平均正答率の格差是正を目指す。	⇒	ICTの活用や話し合い・教え合いの活動を通して、「聞く・話す・考える」活動から思考の共有化を図る。教師側の評価の観点を示し、評価をもとに取組を向上させる実践力を養う。
主体的に学習に取り組 む態度	R5年度さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問事項において、肯定的な回答の割合を90%以上にする。また、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」の質問事項において、肯定的な回答の割合を60パーセント以上にする。	⇒	各授業において、自己決定、自力解決、自己の振り返りの場を設定する。また、主体的な取組として、家庭学習について、内容や手段を示し、自ら考え取り組むことを指導し、小テスト等を評価する。

日信・東の設定

(4月)

## 年度末評価

5	目標・策の達成状況	評価(※)
知識·技能	調査結果分析(2月)	
思考·判断·表現	①結果分析(官埋職・字中主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)	
主体的に学習に取り組む態度	結果提供(2	月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

## さいたま市学習状況調査

4	さいたま市学習状況調査結果・分析
中1	
中2	
中3	

	The same of the same	
<u> </u>	2 6.43>	全国学力·学習状況調査結果·分析
	知識·技能	国語は「言葉の特徴や使い方に関する事項」において全国正答率相当であった。数学は「図形」において全国正答率+4ptであったが、全国的に低い領域であるため、基礎力の定着を継続していく。英語は評価の観点「知識・技能」が全国正答率+10ptであり、「読むこと」「書くこと」における知識・技能をICTを活用し、より一層の向上を図る。
)	思考·判断·表現	国語は「書くこと」が全国正答率+7pt、「話すこと・聞くこと」+3ptで共に思考・判断・表現力の向上がみられた。数学は「データの活用」+10ptでICTの活用の基盤となる領域であるため、より一層の向上に努める。英語でも「書くこと」が全国正答率+11ptではあるが、記述式の問題形式と共に全国的に課題である領域のため、記述力を重視し思考・判断・表現力の一層の向上に努める。
	主体的に学習に取り組 む態度	質問番号12「学校に行くのは楽しい」では肯定的な回答90%以上であった。質問番号17・18の「学校の授業以外の勉強時間」が平日・土休日共に「2時間より少ない」50%以上であることを改善したい。質問番号24「読書は好きですか」では肯定的な回答が約8割である一方で、「読書時間」は平日1日あたり30分以下、「図書館や学校図書室に行く」のは年に数回程度以下が共に約7割であった。

①結果分析(管理職·学年主任等) ②詳細分析(学年·教科担当)

## ③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)

9			
	目標		策
知識·技能	変更なし 平価(9月) 自標・策の見直し	<b></b>	変更なし
思考·判断·表現	変更なし	⇒	変更なし
主体的に学習に取り組 む態度	変更なし	⇒	変更なし